

東北地方 1か月予報

(4月27日から5月26日までの天候見通し)

平成14年4月26日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

ここ数日は、最低気温の低い状態が続き、霜の降りるおそれがあります。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

天気は周期的に変わり、晴れの日が多い見込みです。なお、ここ数日は霜の降りるおそれがあります。

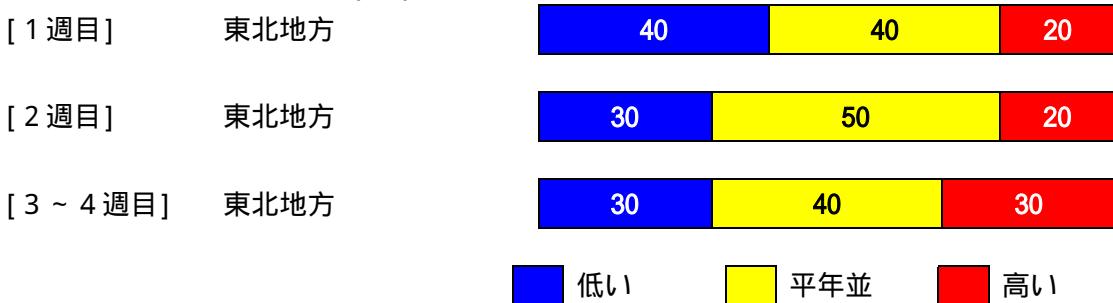
向こう1か月の気温は平年並で、降水量は平年並か少ない、日照時間は平年並か多いでしょう。

気温は、1週目は平年並か低く、2週目は平年並、3～4週目も平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 4月27日(土)～5月26日(日)

1週目 : 4月27日(土)～5月3日(金)

2週目 : 5月4日(土)～5月10日(金)

3～4週目 : 5月11日(土)～5月24日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日14時30分 次回は5月3日

3か月予報：5月20日(月)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	13.1	151.0	188.2	11.5	12.5	13.9
新庄	13.5	107.4	171.9	11.6	12.7	14.5
若松	14.8	78.6	189.9	13.1	14.2	15.7
深浦	12.3	105.8	186.4	10.7	11.8	13.2
青森	12.5	77.3	201.0	10.7	11.9	13.4
むつ	11.5	92.3	199.5	9.7	10.9	12.4
八戸	12.5	84.6	200.7	10.8	12.0	13.3
秋田	13.5	123.7	181.0	11.9	12.9	14.4
盛岡	13.1	104.3	188.1	11.3	12.5	14.1
宮古	12.5	101.6	185.7	11.1	12.1	13.3
酒田	14.2	118.3	188.8	12.5	13.5	15.1
山形	14.8	82.0	193.6	13.0	14.1	15.7
仙台	14.3	110.8	191.5	12.7	13.8	15.1
石巻	13.4	101.7	197.8	11.8	12.8	14.2
福島	15.9	88.1	190.5	14.3	15.4	16.8
白河	14.2	118.3	182.3	12.7	13.7	15.0
小名浜	14.6	148.8	192.4	13.4	14.2	15.3

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります。下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.5	82~114	97~104
東北日本海側	-0.5~+0.6	83~116	96~104
東北太平洋側	-0.3~+0.5	77~114	97~105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.9	-0.5~+0.9	-0.3~+0.6
東北日本海側	-0.8~+0.9	-0.6~+0.9	-0.4~+0.6
東北太平洋側	-0.6~+0.8	-0.5~+0.8	-0.3~+0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成14年4月26日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(4月27日~5月26日) :

天気は周期的に変わり、晴れの日が多い見込みです。

なお、ここ数日は霜の降りるおそれがあります。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(4月27日~5月3日) :

高気圧に覆われて概ね晴れるでしょう。ここ数日の間は、霜の降りるおそれがあります。

平均気温は平年並か低いでしょう。

2週目(5月4日~5月10日) :

天気は概ね周期的に変わるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(5月11日~5月24日) :

天気は概ね周期的に変わるでしょう。

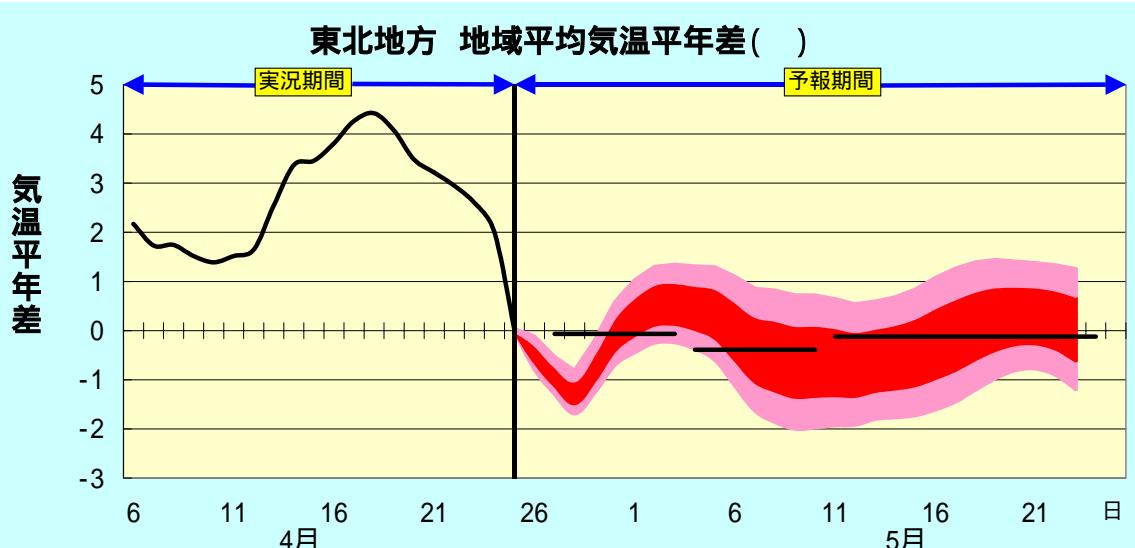
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

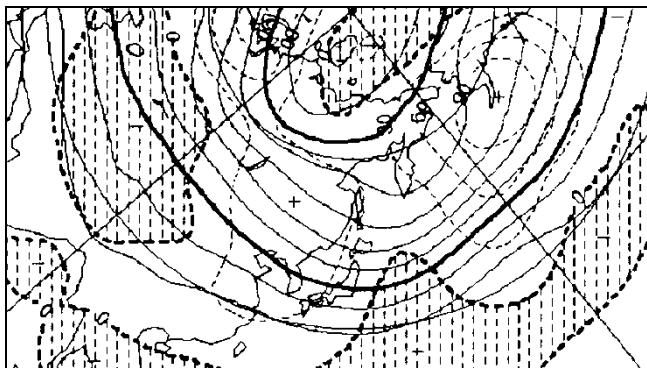
	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.6日	3.6日	4.3日	7.7日
東北太平洋側	16.0日	3.8日	4.4日	7.8日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と予測結果

気温は、1週目、2週目、3~4週目とも「平年並」を予測している。予報は、週間予報の資料を考慮し、1週目を「平年並か低い」に変更した。なお、数値予報の信頼度は小さい。



3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

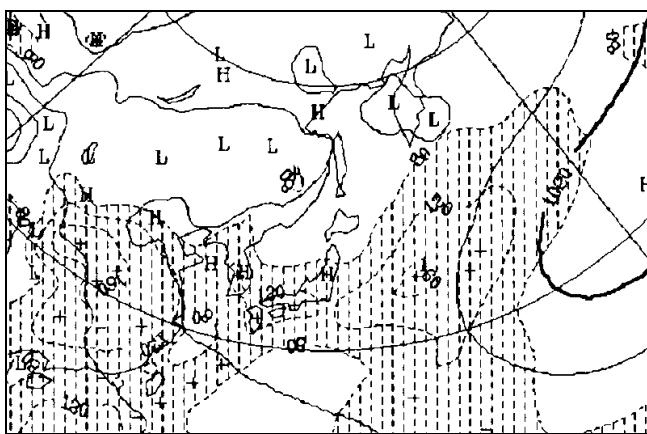


月平均の 500hPa 高度・偏差
等高度線 : 60m 每、偏差 : 30m 每、陰影部 : 負偏差

500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、中国東北区を中心を持つ正偏差が日本付近に広がっているが、日本の南東海上には弱い負偏差も見られる。

これらの傾向は週別（図略）でも概ね共通しているが、2週目はオホーツク海から負偏差域が北日本に広がる。3~4週目には、サハリン付近にはオホーツク海Hに対応する気圧の尾根が予想される。



月平均の地上気圧と降水量
等圧線 : 4hPa 每、降水量 : 40mm 每、陰影部 : 80mm 以上

地上気圧と降水量

月平均で見ると、日付変更線付近の高気圧が日本の東に張りだす。まとまった凝結域は本州南岸が中心。

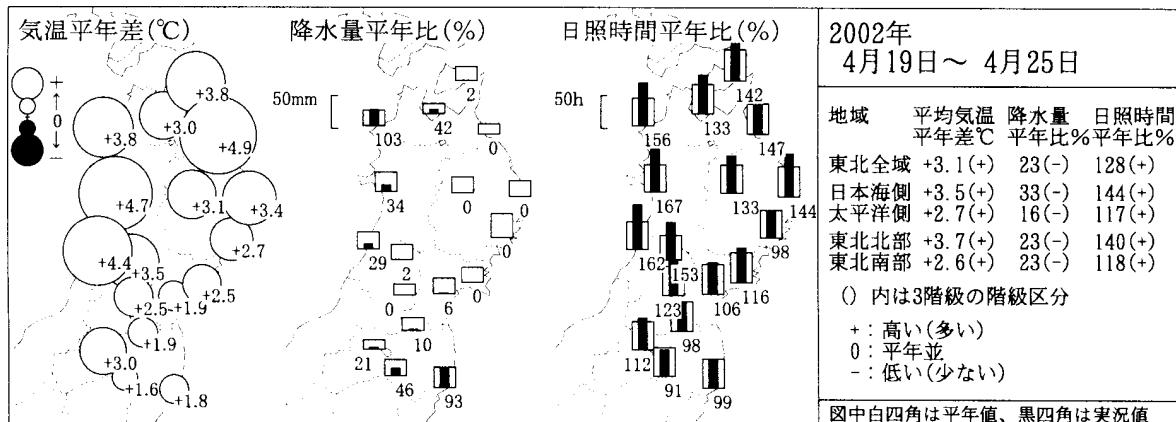
日本付近に等圧線は無く、天気は周期的に変化する。

週別（図略）では、上述 500 hPa とも対応して、2週目にカムチャツカ半島付近の低気圧が顕在化している。3~4週目は、日本の南岸にまとまった凝結域がみられる。

4. 最近1週間（4月19日～4月25日）の天候の経過

高気圧に覆われて晴れた日が多かった。23日と24日は日本海側を中心に気温が上がり、夏日を観測したところがあった。秋田では、23日に日最高気温が26.7度（4月として第2位）となった。

東北地方では、平均気温は平年差+3.1 と高く、降水量は平年比23%と少なく、日照時間は平年比128%と多かった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）